

2021年度の事業報告書(案)
2021年7月1日から2022年6月30日まで

特定非営利活動法人ドネーションシップわかちあい

1 事業の成果

▼生命と自立を支える事業:

- 第1回目の「使途指定寄付」として、滋賀県のブラジル人学校「サンタナ学園」応援プロジェクト(7月~11月)を実施した。コロナ禍で窮状にある在日ブラジル人の子どもたちの居場所を守るため、外国人労働者が日本の産業を支える現実のなかで、国籍や言葉が違って、誰もが安心して生きられる社会への願いを込めた。目標300万円としてスタッフ会員が周囲に呼びかけ、故障続きのスクールバスを新しくすることができた。寄せられた4,387,600円の全額をサンタナ学園に寄付した。
- 軍政下で苦難にあるミャンマーの人たちを支援する2団体に合計100万円の「わかちあい」寄付を実施した(2022年3月)
「ミャンマーの人たちとつながる会」に50万円、NPO法人「パルシック」(ミャンマー支援)に50万円
- NPO法人「IKUNO・多文化ふらっと」に50万円の「わかちあい」寄付を実施した(2022年6月)
5人に1人が外国籍住民の大阪市生野区での「多文化共生のまちづくり」拠点の立ち上げを支援

▼情報などの事業:

情報交換や会員交流に努め、わかちあいに共感する人のつながりを築いた。交流掲示板、通信発行、メルマガ、事務局ブログを通して当会の活動や寄付先の現場からの情報を発信した。新しいホームページで使途指定寄付、クレジット寄付の機能を取り入れたことで、新たに共感して下さる方々、ご支援下さる方々との出会いにつなげることができた。

▼全体として: 発足から15年余の寄付の総額は 37,044,172円になった。(2022年6月末現在)

今年度もコロナ禍の影響でわかちあい祭りなどの対面の催しは中止を余儀なくされた。が、新たに始めた使途指定寄付の仕組みを生かして、わかちあいの輪を大きく広げることが出来た。プロジェクトを知って「ささやかですが、応援したい」というたくさんの方々の問合せやご支援を受けた。庶民の善意、人のやさしさを痛感した。今後もそうした人々の気持ちを形にし、国内外のいのちと生存の現場に「わかちあい」を届けていく。寄付の実績を積み上げ、人々の気持ちをつないでいく。また寄付者が税制上の優遇措置を受けられる認定NPO法人としてその信頼に応えていく。わかちあいと支えあい、をこの社会に根付かせていく。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
情報などの交流を促進する事業	ウェブサイト、ブログ等をつうじて、困った時はお互い様の輪を広げる情報発信、交流を図る。通信(年2回)発行。	通年	法人事務所等	15人	不特定多数
生命と自立を支える事業	▼サンタナ学園応援露プロジェクト バス買い替え使途指定寄付を呼びかける。最終集約4,387,600円(のべ149人)全額サンタナ学園に寄付(9/8, 12/7)	2021 7月~ 12月	法人事務所等	15人	滋賀県ブラジル人学校 サンタナ学園の子どもたち
	▼2団体に計100万円を寄付(各50万円) ○ミャンマーの人たちとつながる会 ○NPO法人パルシック(ミャンマー支援)	2022 3.3	法人事務所等	10人	軍政下のミャンマーの人たち 在日ミャンマーの人たち
	▼NPO法人「IKUNO多文化ふらっと」に50万円を寄付(多文化共生のまちづくり)	2022 6.14	法人事務所等	10人	大阪生野区の住民

◆生命と自立を支える事業 ドネーションシップ・プロジェクト（2021年7月～2022年6月末）

●途指定寄付<第1回>サンタナ学園応援プロジェクト(2021年7月～11月)

コロナ禍で窮状にある在日ブラジル人の子どもたちの居場所を守るため、外国人労働者が日本の産業を支える現実のなかで、国籍や言葉が違っても、誰もが安心して生きられる社会への願いを込めた。第1回使途指定寄付としてバス買い替えの目標300万円を決め「サンタナ学園」応援プロジェクトを実施した。スタッフ会員が周囲に呼びかけ、これまでの人のつながりを越えて、多くの方々から賛同と支援が寄せられた。（感謝）

寄せられた4,387,600円全額をサンタナ学園に寄付(12/7)

<寄付に添えられたひとことには庶民の思いが詰まっていた>

○新聞記事で読みました。ほんの少しですが協力させてください

○サンタナ学園の送迎車購入に。以前の職場でブラジルの方と一緒に働いていました。いつも明るいその人に元気をもらっていました。わずかですがお返ししたいと思います。

○年金生活で少しですが、応援したい。



サンタナ学園より、お礼のメッセージ

この度はサンタナ学園のためにご寄付を頂き誠にありがとうございます。サンタナ学園の先生・生徒一同心より感謝しております。寄付金だけでなく、低価格で安心安全に走れるマイクロバスを車検前までにと探して頂きました。たくさんの方のご苦労と想いが詰まった、黄色の三角マーク「スクールバス」とサンタナ学園の青い文字が入った新しいマイクロバスは、滋賀の東湖エリアを朝夕子供たちを乗せ走っています。現在サンタナ学園の周りには雪で真っ白ですが、安心して暖房をつけられるのは皆様のおかげです。大切に使用させていただきます。今後も子供たちのために先生一同頑張っていきますので、見守って頂けますようお願い申し上げます。

●第21回「わかちあい」～軍政下のミャンマーの人たちへ～

2団体に各50万円、合計100万円を寄付（2022年3月）

2021年2月国軍のクーデター以降、ミャンマーは戦禍のなかにあります。軍政への不服従を貫く人たちへの弾圧が続いている。不服従運動に参加しているのは、ただあたりまえに生きたいと願うミャンマーの人たちです。同時代を生きるミャンマーの人たちの現実を知り、寄付先について検討相談、2月寄付先選定委員会で決定しました。（2022年3月3日送金）

▼ミャンマーの人たちとつながる会

介護実習に来ていたミャンマー人の実習生から、クーデター後の祖国や家族への思いを聞き、関西を中心に祖国を思いクーデターへの抗議を続ける在日ミャンマーの人たちを支える。クーデターに抗議する活動を支援。そうした在日ミャンマーの人たちを支援（在留ビザ、仕事や暮らし、住居、医療等の相談と支援）。ミャンマーの状況について知ること、伝えることを続けている。

▼NPO法人「パルシック」（ミャンマー緊急支援事業）

ミャンマー国内で市民不服従運動（CDM）に参加し、職も収入も失った人々を支援。2022年5月の最新の統計では、1800人以上の市民が国軍により殺害され、1万人以上が逮捕されている。家族が国軍によって逮捕されたなど、緊急に支援を必要とする主に女性世帯に関して、その地域で活動している現地協働団体を通じて食料や衣類などの生活物資の配布を実施。

1 食料品などの配布：158世帯747名（男性335名、女性412名）に食糧品や生活用品、医薬品などの配布を実施。

2 現金給付：コミュニティーへの直接支援として、304名（男性129名、女性175名）に日本円で約6500円の現金給付を実施

●第22回「わかちあい」～多文化共生のまちづくりの拠点・立ち上げを支援～

NPO法人「IKUNO 多文化ふらっと」に50万円を寄付（2022年6月）

～生野区は、区民12万7千人のうちの5人に1人以上が外国籍住民のまちです。100年以上におよぶ歴史の風雪の中、ともに生きてきた在日コリアンの人々をはじめ、いまや60か国以上の外国ルーツの人々が暮らす多国籍・多文化のまちです。～という大阪・生野区での御幸森小学校跡地事業「多文化共生のまちづくりの拠点」について、4月にスタッフ有志で現場見学、事業について話を聞き、6月正式決定（6/14送金）。寄付は「多文化共生センターの設立・運営、学習支援、子ども食堂の支援」に充てられる。

～ひとりできることは小さいけれど みんなの力をあわせれば 世界に笑顔がひろがっていく～

発足から15年余の寄付の総額は37,044,172円になりました！

◆活動日誌 (2021年7月～2022年6月末)

～サンタナ学園応援プロジェクトの呼びかけ、広報を開始～

7月11日 ドネ通信26号発送

～総会に向けての事業報告書、会計報告書の作成～

8月21日 通常総会 ～事業報告、会計報告他～

～コロナ緊急事態宣言で少人数開催。委任状と書面表決での総会開催とする～

～サンタナ学戦応援プロジェクト、新聞掲載で寄付や問い合わせが相次ぐ。候補のバスが見つかる～

9月28日 サンタナ学園にマイクロバス納車 (協力業者様とともにドネから3名参加)

10月9日 ドネ会 (運営会議、コロナ禍で掲示板開催)

10月17日 「アートで知ろう、つながろう、ブラジルと日本」 絵画展 (滋賀県愛荘町) 有志見学 (サンタナ学園のYさん)

10月24日 事務担当会議 (認定NPOに伴う会計、事務作業の手続きの打ち合わせ)

11月20日 野宿者ネットワークの夜回りに有志2名参加 (大阪、西成)

11月30日 サンタナ学園応援プロジェクト最終集約 (寄付総額4,387,600円となる)

12月7日 サンタナ学園へわかちあい・寄付を送金

12月11日 ドネ会 (サンタナプロジェクトの総括、今後に向けて) (Kさんのお店をお借りして納会)

12月15日 サンタナ学園訪問 (会員他、計4名)

1月27日 ドネ通信27号発送 ～対象者には寄付金受領証明書を同封～

2月1日 ミャンマーの人たちとつながる会の集会 (尼崎) 2名参加

2月12日 ドネ会・寄付先選定委員会 (拡大理事会) コロナ禍で掲示板開催

～軍政下のミャンマー支援、2団体に各50万円のわかちあい・寄付を決定 (3/3送金)

4月9日 ドネ会 (運営会議、コロナ禍で掲示板開催)

4月24日 生野コリアタウン (IKUNO多文化ふらっとの事務所訪問、活動について話を聞く、ドネから4名参加)

5月12日 大阪山王こどもセンター訪問 (立川)

6月13日 ドネ会・寄付先選定委員会 (拡大理事会) 事務所にて開催

～NPO法人「IKUNO多文化ふらっと」に50万円の寄付を決定 (6/14送金)～

～山王こどもセンター建て替え応援の用途指定寄付の実施を決定～

※日常的にウェブサイトでの情報発信 (ドネの活動、寄付先からの情報等)

ブログ、メルマガ、交流掲示板での情報共有、会員交流を実施。隔月でドネ会・運営会議を開催。

(コロナの影響で運営掲示板での会議とする。

同じくコロナ感染拡大の影響で、わかちあい祭りは昨年、一昨年に続いて中止した。



子どもたちの安全を守りたい!!

ブラジル人学校「サンタナ学園」の通学用マイクロバスを買い替えるため、寄付を呼び掛ける画像＝「ドネ・シヨシップわかちあい」のホームページより

負けない

新型コロナ

通学バス買い替え支援

伏見のNPO 寄付募る

同法人は、国内外の被災地や貧困層への寄付の仲介活動を進めてきた。コロナ禍で苦しむ団体を探る中、学園のバスの問題を知り、支援を決めた。代表理事の立川さきさん(60)は「子どもたちが学べる環境を守るためにも支援を広げたい」と話す。

寄付は、郵便振替もしくは同法人のホームページからクレジットカードで受け付ける。11月30日まで募り、集まった寄付金全額を、学園に贈る。同法人075(6221)3128。(長谷川祐太)